



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年11月13日

上場会社名 株式会社大運 上場取引所 東
 コード番号 9363 URL <http://www.daiunex.co.jp>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 岩崎 雅信
 問合せ先責任者（役職名） 管理部部長（氏名） 蜂須賀 伸子（TEL）06-6120-2001
 半期報告書提出予定日 2024年11月14日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

（1）経営成績（累計）（%表示は、対前年中間期増減率）

	営業収入		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	4,313	7.1	151	33.6	200	37.6	187	△14.8
2024年3月期中間期	4,028	△14.2	113	21.5	145	35.8	219	197.6
	1株当たり 中間純利益		潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益					
	円 銭		円 銭					
2025年3月期中間期	34.40		—					
2024年3月期中間期	39.75		—					

（2）財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
2025年3月期中間期	5,495		3,452		62.8	
2024年3月期	5,912		3,741		63.3	

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 3,452百万円 2024年3月期 3,741百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	11.00	11.00
2025年3月期	—	0.00			
2025年3月期（予想）			—	11.00	11.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	営業収入		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,200	1.3	245	25.9	300	13.3	290	△0.6	55.35

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 中間財務諸表及び主な注記(3) 中間財務諸表に関する注記事項(中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期中間期	6,228,039株	2024年3月期	6,228,039株
-------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2025年3月期中間期	988,353株	2024年3月期	695,215株
-------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数(中間期)

2025年3月期中間期	5,446,740株	2024年3月期中間期	5,533,101株
-------------	------------	-------------	------------

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

●本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローの概況	3
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間(2024年4月1日～2024年9月30日)におけるわが国の経済は、社会経済活動の正常化が進み、引き続き緩やかな回復が続きました。一方で世界経済はウクライナ情勢の長期化、中東情勢の緊迫化による地政学的リスクの増大、円安による原材料やエネルギー価格の高騰、米国大統領選挙の日本経済への影響など、先行き不透明な状況が続いております。

当社におきましては新規顧客の獲得と既存顧客とのお取引深耕に取り組み、国際一貫輸送のさらなる受注獲得を目指して営業活動を展開してまいりました。円安の影響下にありながら輸入貨物の堅調な受注もあり、営業収入は増収、営業利益についても増益となりました。

この結果、当中間会計期間における営業収入は4,313,276千円で、前年同中間期と比べ284,726千円(7.1%)の増収となりました。営業利益は151,021千円で、前年同中間期と比べ37,988千円(33.6%)の増益、経常利益は200,745千円で、前年同中間期と比べ54,884千円(37.6%)の増益となりました。また、中間純利益は187,357千円となり、前年同中間期と比べ32,605千円(14.8%)の減益となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①港湾運送事業

当社の主要セグメントである当セグメントにおきましては、当社主要取引先の受注が堅調に推移したため、前年同中間期比において増収増益となりました。

この結果、営業収入(セグメント間の内部売上高又は振替高を除く)は4,215,903千円で、前年同中間期と比べ293,941千円(7.5%)の増収となり、全セグメントの97.8%を占めております。

セグメント利益(営業利益)は317,229千円で、前年同中間期と比べ57,505千円(22.1%)の増益となりました。

②自動車運送事業

当セグメントにおきましては、収益的には厳しい状況が続きました。

営業収入(セグメント間の内部売上高又は振替高を除く)は95,400千円で、前年同中間期と比べ9,047千円(8.7%)の減収となり、全セグメントの2.2%を占めております。

セグメント損失(営業損失)は2,684千円、(前年同中間期は837千円のセグメント利益(営業利益))となりました。これは燃料費等諸コスト高騰の影響によるものであります。

③その他

当セグメントにおきましては、前年同中間期とほぼ同水準となりました。

この結果、営業収入は1,972千円で、前年同中間期と比べ167千円(7.8%)の減収となり、全セグメントの0.0%を占めております。セグメント利益(営業利益)は1,957千円で、前年同中間期と比べ167千円(7.9%)の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当中間会計期間末における流動資産は、前事業年度末より134,531千円減少して2,940,746千円となりました。これは立替金の増加73,468千円、営業未収入金の増加35,727千円、現金及び預金の減少248,191千円等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末より282,218千円減少して2,555,240千円となりました。これはソフトウェア仮勘定の増加63,750千円、投資有価証券の減少319,710千円等によるものであります。

流動負債は、前事業年度末より50,529千円増加して1,306,380千円となりました。これは営業未払金の増加75,035千円、未払法人税等の増加16,707千円、1年内返済予定の長期借入金の減少49,597千円等によるものであります。

固定負債は、前事業年度末より178,664千円減少して737,049千円となりました。これはその他固定負債の減少130,043千円、長期借入金の減少50,082千円等によるものであります。

純資産は、前事業年度末より288,614千円減少して3,452,556千円となりました。これはその他有価証券評価差額金の減少293,450千円の減少等によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの概況

当中間会計期間の現金及び現金同等物の残高は、前事業年度末比△248,191千円であり、1,531,304千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、129,226千円(前年同中間期は160,077千円)でありました。これは、税引前中間純利益計上278,224千円、仕入債務の増減額75,035千円、投資有価証券売却損益△76,206千円、立替金の増減額△73,468千円等が主な要因となっております。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、△93,225千円(前年同中間期は196,323千円)でありました。これは、投資有価証券の売却による収入246,059千円、投資有価証券の取得による支出△270,126千円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、△284,192千円(前年同中間期は△152,784千円)でありました。これは、長期借入れによる収入100,000千円、長期借入金の返済による支出△199,679千円、自己株式の取得による支出△121,660千円等によるものです。

(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2024年11月12日に発表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」において開示しておりますので、ご参照ください。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当中間会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,779,495	1,531,304
受取手形	1,418	1,088
営業未収入金	738,694	774,422
立替金	505,649	579,118
その他	56,126	61,451
貸倒引当金	△6,105	△6,637
流動資産合計	3,075,278	2,940,746
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	76,967	74,244
構築物(純額)	1,687	1,611
機械及び装置(純額)	31,454	28,312
車両運搬具(純額)	31,075	24,225
工具、器具及び備品(純額)	2,582	2,046
土地	576,183	576,183
リース資産(純額)	12,687	12,331
有形固定資産合計	732,637	718,956
無形固定資産		
ソフトウェア	3,133	2,760
ソフトウェア仮勘定	32,500	96,250
のれん	83,793	69,827
その他	4,188	4,188
無形固定資産合計	123,614	173,025
投資その他の資産		
投資有価証券	1,811,414	1,491,704
差入保証金	76,054	75,780
その他	226,027	226,135
貸倒引当金	△132,290	△130,362
投資その他の資産合計	1,981,206	1,663,258
固定資産合計	2,837,458	2,555,240
資産合計	5,912,736	5,495,986

(単位:千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当中間会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	618,508	693,544
1年内返済予定の長期借入金	381,410	331,813
未払金	43,347	58,817
未払法人税等	83,891	100,599
賞与引当金	49,413	49,466
その他	79,279	72,139
流動負債合計	1,255,850	1,306,380
固定負債		
長期借入金	470,913	420,831
退職給付引当金	212,171	213,632
その他	232,630	102,586
固定負債合計	915,714	737,049
負債合計	2,171,564	2,043,429
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,394,398	2,394,398
資本剰余金		
資本準備金	52,473	52,473
資本剰余金合計	52,473	52,473
利益剰余金		
利益準備金	29,092	35,178
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	1,031,238	1,151,648
利益剰余金合計	1,060,330	1,186,826
自己株式	△312,437	△434,098
株主資本合計	3,194,765	3,199,601
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	546,406	252,955
評価・換算差額等合計	546,406	252,955
純資産合計	3,741,171	3,452,556
負債純資産合計	5,912,736	5,495,986

(2) 中間損益計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業収入	4,028,549	4,313,276
営業原価	3,751,898	3,982,808
営業総利益	276,651	330,467
販売費及び一般管理費	163,618	179,446
営業利益	113,033	151,021
営業外収益		
受取利息	3	25
受取配当金	28,674	30,323
受取家賃	13,200	13,410
雑収入	12,261	15,111
営業外収益合計	54,139	58,869
営業外費用		
支払利息	3,058	3,014
為替差損	12,533	411
賃貸費用	5,718	5,718
営業外費用合計	21,311	9,145
経常利益	145,860	200,745
特別利益		
固定資産売却益	—	1,272
投資有価証券売却益	168,228	76,206
特別利益合計	168,228	77,479
税引前中間純利益	314,089	278,224
法人税、住民税及び事業税	94,126	90,867
法人税等合計	94,126	90,867
中間純利益	219,963	187,357

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	314,089	278,224
減価償却費	21,553	17,036
のれん償却額	13,965	13,965
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△41,321	△1,396
賞与引当金の増減額(△は減少)	600	53
退職給付引当金の増減額(△は減少)	5,971	1,461
受取利息及び受取配当金	△28,677	△30,348
支払利息	3,058	3,014
為替差損益(△は益)	△14	5
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△1,272
投資有価証券売却損益(△は益)	△168,228	△76,206
売上債権の増減額(△は増加)	△33,242	△35,398
仕入債務の増減額(△は減少)	90,869	75,035
立替金の増減額(△は増加)	△47,210	△73,468
その他の資産の増減額(△は増加)	8,990	△17,851
その他の負債の増減額(△は減少)	30,689	22,315
小計	171,092	175,170
利息及び配当金の受取額	28,677	30,348
利息の支払額	△3,058	△3,014
法人税等の支払額	△36,634	△73,276
営業活動によるキャッシュ・フロー	160,077	129,226
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	—	△730
有形固定資産の売却による収入	—	1,272
無形固定資産の取得による支出	△8,500	△69,700
投資有価証券の売却による収入	596,883	246,059
投資有価証券の取得による支出	△391,860	△270,126
その他の支出	△300	—
その他の収入	100	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	196,323	△93,225
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	100,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△195,243	△199,679
自己株式の取得による支出	△115	△121,660
配当金の支払額	△54,571	△60,303
リース債務の返済による支出	△2,854	△2,550
財務活動によるキャッシュ・フロー	△152,784	△284,192
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	203,615	△248,191
現金及び現金同等物の期首残高	1,481,624	1,779,495
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,685,239	1,531,304

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間損益 計算書計上額 (注) 3
	港湾運送事業	自動車運送事業	計				
売上高							
顧客との契約から生じる収益	3,921,962	104,447	4,026,409	2,139	4,028,549	—	4,028,549
外部顧客への売上高	3,921,962	104,447	4,026,409	2,139	4,028,549	—	4,028,549
セグメント間の内部売上高 又は振替高	557,540	241,494	799,035	—	799,035	△799,035	—
計	4,479,502	345,942	4,825,444	2,139	4,827,584	△799,035	4,028,549
セグメント利益	259,723	837	260,561	2,124	262,685	△149,652	113,033

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険その他を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額の内容は、△149,652千円は全社費用であり、その内容は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、中間損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当中間会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間損益 計算書計上額 (注) 3
	港湾運送事業	自動車運送事業	計				
売上高							
顧客との契約から生じる収益	4,215,903	95,400	4,311,304	1,972	4,313,276	—	4,313,276
外部顧客への売上高	4,215,903	95,400	4,311,304	1,972	4,313,276	—	4,313,276
セグメント間の内部売上高 又は振替高	665,874	244,880	910,755	—	910,755	△910,755	—
計	4,881,778	340,280	5,222,059	1,972	5,224,031	△910,755	4,313,276
セグメント利益又は損失 (△)	317,229	△2,684	314,544	1,957	316,502	△165,481	151,021

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険その他を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額の内容は、△165,481千円は全社費用であり、その内容は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、中間損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。